

銀河の会主催

第5回

大人のためのおはなし会

宮沢賢治作

# 祭の晩

2025

8/24(日)

13:00～14:20

開場12:30 途中休憩あり

## プログラム

1部 市川さつきによる表現よみ  
「祭の晩」

2部 Everlyコンサート



木版画 伊藤卓美

| 会場 | 小金井宮地楽器ホール 小ホール

| 連絡先 | 【銀河の会代表 松尾】 080-1232-0794

| チケット | 大人2,500円 小中学生1,500円（全席自由）未就学児入場不可

2025年6月1日より発売開始

## ごあいさつ

「祭の晩」は宮沢賢治の愛してやまない岩手県に伝わる「山男」をモチーフにした、生前未発表の童話です。『風の又三郎』などにも共通する異なるものへの温かさが、この作品には凝縮されています。

山の神の秋の祭の晩でした。この物語の主人公・亮二は、人だかりの中に誰かが泣きながら赦しを乞うているのを見ました。それはさっき見世物小屋でぶつかった金色の目をした赤い顔の大男でした。

あまりにも純朴な山男を助けずにはいられなかった少年は、そのあとどんな行動をとるのでしょうか。一言も言葉を交わしていない山男と少年に生まれたほのかな友情のおはなしです。

市川さつきの豊かな表現読みと郷愁を誘う伊藤卓美の木版画をどうぞお楽しみに。

銀河の会主宰 松尾潤子

## 語り手 市川さつき -satsuki ichikawa-

絵本美術館「森のおうち」(長野県安曇野市)の現名誉館長酒井倫子氏に2007年より師事し研鑽を積む。現在は朗読講師小出伊保氏に師事し、長野・東京等で各種朗読会に出演している。「目で見て、身体で感じて、声に出す」という“表現よみ”の深く確かな理解に努めている。



## 木版画家 伊藤卓美 -takumi itow-



民俗芸能に魅せられ、その感動を木版画として表現することをライフワークとする。また、賢治の世界観に大きな影響を受け、賢治作品を題材にした版画を長年にわたって手がけている。国内外で個展を開く。2024年、花巻市より第34回「イーハトーブ」賞受賞。早稲田大学エクステーションセンター講師

木版画「祭の晩」は、第5回銀河の会の為に制作されたものです。

## Everly (エバリー)



### [小金井 宮地楽器ホール]

所在地

〒184-0004

東京都小金井市本町6-14-45

(JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前)

